

# Contents

## ガイドブック

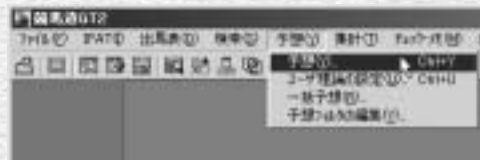
収録理論で予想する	4	IPATのオッズ・馬体重データの活用	72
収録理論の紹介	12	収支を入力する	75
予想項目の説明	17	収支を表示する	76
オリジナル予想理論をつくる	21	データベースで楽しむ	78
予想理論を自動作成する	25	検索の使い方	84
買い目と予想印のカスタマイズ	33	成績を検索する	86
フィルタをかける	35	競走馬を検索する	90
複数のレースを一括予想する	40	種牡馬を検索する	92
予想結果をメールで送信する	43	騎手を検索する	94
回収率計算	44	厩舎を検索する	96
出馬表から新聞を印刷	48	チェック機能	98
複数レースの新聞を印刷	50	メモデータの管理	100
新聞に予想理論の印・買い目を入れる	51	コメントデータの検索	102
新聞印刷の設定	54	レース集計	106
特別登録馬のデータを検索する	56	戦歴集計	109
想定出馬表を作成する	58	出馬表集計	112
競馬道GT2のIPAT対応機能	63	KOLナビゲーターの使い方	116
IPAT投票と払戻情報の表示	64	直結指数plus!ビューワーの使い方	120
IPAT自動投票機能を利用する	71		

# 収録理論で予想する

競馬道GT2の「予想機能」では、レースの予想に「予想理論」を利用します。競馬道GT2に収録されている38本の理論に加え、ユーザ独自の理論を作成して予想することもできます。

▶ 収録理論の概要は「収録理論の紹介」をご覧ください(→12ページ)

## 収録理論で予想する手順



① あらかじめ①「はじめてガイド」の手順で予想したいレースを含む「出馬表+競走馬」ファイルを登録しておいてください。登録が終了しましたら、メインメニューの【予想】から【予想】を選択します。



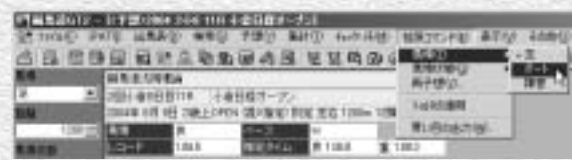
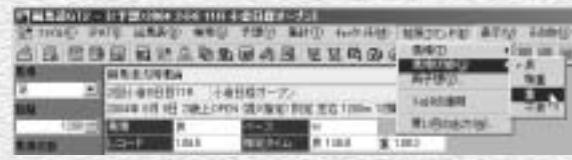
② 予想に利用する理論と、予想したいレースを選択します。この例では【競馬道汎用理論】を使って、北陸Sを予想してみます。【実行】をクリックすると、予想が開始されます。

③ 予想処理が終了した画面です。【理論】の欄にある印が予想理論による予想印です。【予想】は競馬ブック予想印\*、【斤量】と【総合】の間にある【コース出目】、【距離適性】等の数値は、予想理論で利用しているそれぞれの予想項目での各馬の順位を示したものです。詳細は、買い目と枠順の間にあるそれぞれのタブをクリックすることで確認できます。既にレースが終了し、成績を登録している場合は一番右に着順が表示されます。

※予想印は東：松本憲二、西：中野秀幸の予想印

## 馬場状態、コースを変更する

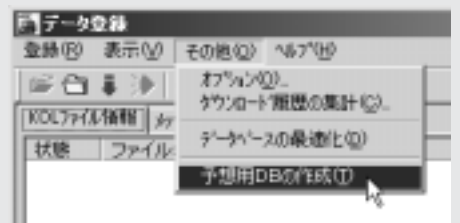
① 競馬道GT2の予想理論では、良馬場を前提に予想が行なわれます。良馬場以外でレースが行なわれる場合、あるいは雪で芝のレースがダート変更になった場合などは、予想結果表示時にメインメニューの【拡張コマンド】から、馬場や馬場状態を変更してください。距離は【拡張ボックス】で変更できます。変更後は、【拡張コマンド】から【再予想】を選択することで、変更結果が予想に反映されます。



## アドバイス

### 予想用データベースの作成と、データベースの最適化

競馬道GT2では、出馬表や成績を表示するためのデータベースとは別に、予想用のデータベースを作成することができます。予想用データベースを作成すると、レースの予想にかかる時間を短縮できますので、予想機能を頻繁に利用する場合は作成するといでしょう。予想用データベースの作成は、【データ登録】ウィンドウの【その他】から【予想用DBの作成】を選択します。ただし、お使いのパソコンによってはデータベースの作成に数時間かかる場合もありますのでご注意ください。なお、この予想用データベースには、通常のデータ登録作業と同時に最新のデータが自動的に登録されますので、一度作成すればメンテナンスの必要はありません。競馬道GTで予想用DBを利用していた方が競馬道GT2にアップグレードされた場合は、予想用DBを作成し直す必要があります。また、右の画面にある【データベースの最適化】とは、データベ

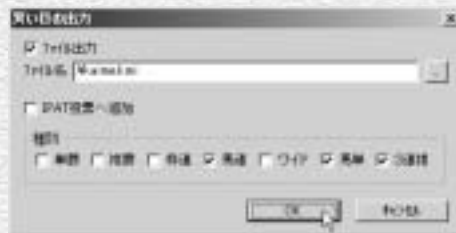
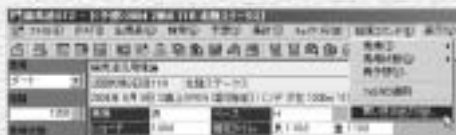


ースの最適化を行ない、検索処理速度を向上させるものです。競馬道GT2を長く使い続けた場合など、必要に応じて実行してください。

## 予想結果をIPAT投票機能に転送する

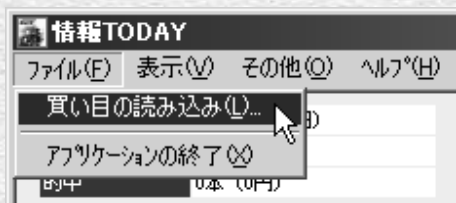


【情報TODAY】および【IPAT投票機能】の詳細は、「はじめてガイド」の「情報TODAY」(P40)、および本冊子の「IPAT対応機能」(P63)をご覧ください。



① 競馬道GT2では、予想結果の買い目をファイルに出力し、IPAT投票機能の投票リストに読み込むことができます。予想が終了したら、[拡張コマンド] から [買い目の出力] をクリックしてください。

② 購入しない馬券種別のチェックを外し、OKをクリックすると買い目ファイルが出力されます。ファイルの出力先やファイル名は、ファイル名の横の[...]をクリックすれば変更できます。【IPAT投票へ追加】をチェックすると、買い目を直接【IPAT投票】ウインドウに転送します(→④へ)。



③ 情報TODAYを起動し、[ファイル]メニューから [買い目の読み込み] を選択します。[ファイルを開く] ダイアログが表示されますので、②で出力したファイルを指定してください。



④ 【IPAT投票】ウインドウに買い目を読み込まれます。金額の調整を行ない、[投票] をクリックすればIPAT投票が実行されます。

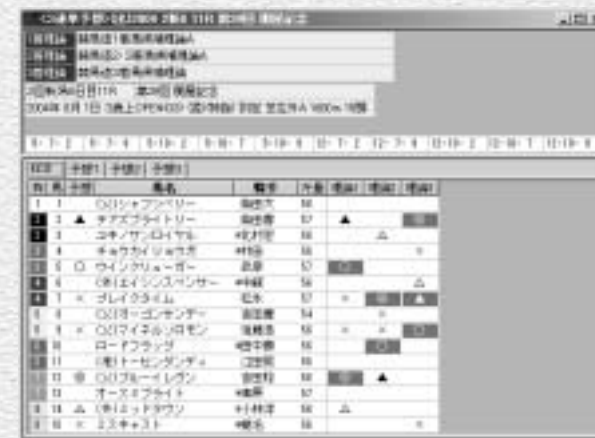
## 3連単らくらくウィザード

競馬道GT2には、予想理論を利用した3連単予想をサポートする「3連単らくらくウィザード」が搭載されました。1着馬候補から3着馬候補を個別に指定することで、ボックス買いに比べ大幅に買い目を絞ることができます。

※IPAT連動機能による3連単の購入には、10月以降に自動バージョンアップ(無料)にて対応します。詳細は競馬道CD-ROMホームページ「<http://soft.keibado.com/cd-rom/>」でご案内いたします。

### 3連単らくらくウィザードの概要

「3連単らくらくウィザード」とは、「1着馬候補用理論」「2着馬候補用理論」「3着馬候補用理論」の計3理論を同じレースに使い、「予想理論」を3連単に適用しやすくする機能です。上の例では計5頭を馬券の対象としているため(画面右、[理論1](1着馬候補)～[理論3](3着馬候補)の印を反転表示)、ボックス買いでは60点にもなってしまいますが、1着馬候補から3着馬候補を個別に指定することで、実際の買い目は10点で取まっています。利用方法の詳細は次ページ以降で解説します。



## 「3連単らくらくウィザード」の使い方

① まず、「3連単らくらくウィザード」を利用するレースの出馬表を表示します(→78ページ)。続いて、メインメニューの【拡張コマンド】から【3連単ウィザード】を選択すると、「3連単らくらくウィザード」のダイアログが表示されます。



② 1着馬候補を選定するための理論をプルダウンメニューから選択し、隣の【予想】をクリックします。画面の例では、競馬道GT2に収録されている【競馬道1着馬候補理論A】を利用しています。



③ 指定した理論による予想印が表示されます。この予想印を参考に、1着馬候補に指定する馬にチェックを入れ、【次へ】をクリックします。画面では○のブルーイレヴンと、○のウインクリューガーを1着馬候補としました。



④ 前ページ2の手順と同様に、2着馬候補を選定する理論を選択し、【予想】をクリックします。画面では【競馬道2・3着馬候補理論A】を利用しています。このとき、前ページ2で予想した印が参考として残っています。



⑤ 前ページ3で1着馬候補とした馬にはチェックが入っていますので、取り消す場合はチェックを外すか、【チェック・リセット】をクリックしてください。2着馬候補にチェックを入れ、【次へ】をクリックします。なお、2着馬候補と3着馬候補に同じ馬を指定する場合は【3着馬候補は2着馬候補と同一】にチェックを入れ、【完了】をクリックしてください(→11ページ、アドバイス)。



⑥ 3着馬候補の選定に利用する理論を選択し、【予想】をクリックします。画面は【競馬道3着馬候補理論】を利用する例です。



7 3着馬候補とする馬にチェックを入れます。画面右に買い目の一覧と点数が表示されますので、買い目が多すぎる場合や訂正したい場合は「戻る」をクリックして修正してください。[完了]をクリックすると、「3連単らくらくウィザード」は終了します。



8 「3連単らくらくウィザード」による予想結果です。画面左上に適用した理論の一覧が、その下には買い目が表示されます。また、画面下には適用した理論による予想印も表示されます。[予想1]は1着馬候補の選定に利用した理論による予想印で、[予想2]は2着馬候補、[予想3]は3着馬候補用の理論による予想印です。1着馬候補～3着馬候補に指定した馬は、予想印が赤地に白文字になります。



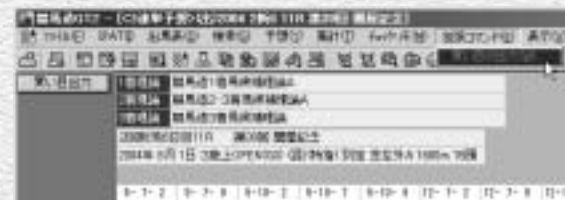
9 [予想1] から [予想3] のタブを選択すると、それぞれの理論における各馬の得点とグラフが表示されます。



## 買い目をIPAT投票機能に転送する

※本機能は10月以降に自動バージョンアップ（無料）にて利用可能になります。

「3連単らくらくウィザード」で提示された買い目は、IPAT投票機能に転送できます。メインメニューの【拡張コマンド】から【買い目の出力】を選択してください。以降の手順は、理論による予想結果を転送する際とほぼ同様です（→6ページ）。



## 3連単予想配信を取得する

「競馬道3連単予想班」によって配信される3連単予想を、競馬道GT2に取り込むこともできます（2004年9月10日から2005年3月10日まで。全場後半4レース）。予想を取得するレースの出馬表を開き、メインメニューの【予想配信の取得】をクリックしてください。予想配信はレース前日の午後6時以降を予定しています。



▶ 配信される予想は「○○▲△×」の5つの予想印となります。「競馬道3連単予想班」の推奨馬券は、「○○」の2頭を1着馬候補とし、「○○▲△」の4頭を2、3着馬候補とした計12点です。

## アドバイス

### 3着馬候補に2着候補と同一の馬を指定する

9ページ5の手順で [3着馬候補は2着馬候補と同一] にチェックを入れると、3着馬候補を指定する手順を経ず、2ステップで買い目を表示することができます。2着馬候補と3着馬候補を分ける必要がない場合や、短時間で3連単予想を行ないたい場合などにご利用ください。

